

鳥取県 介護施設＋SAFE協議会

～鳥取県で働くすべての方の健康と安全のために～



1 目的

この協議会は、鳥取県内の主要な介護施設、業界団体、行政機関等を構成員として、各業界における労働災害防止に関する取組の情報共有、好事例の水平展開、啓発活動などを通じて、介護施設における安全衛生に対する機運醸成を推進し、労働災害の減少を図ることを目的に設置しています。

2 SAFEとは

従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です。

Safer Action For Employees = SAFE
(セイファ アクション フォー エンプロイーズ セイフ)

3 協議会メンバー

社会福祉法人こうほうえん、社会福祉法人あすなろ会、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会、鳥取県老人福祉施設協議会、一般社団法人鳥取県介護福祉士会、公益財団法人介護労働安定センター鳥取支部、全国健康保険協会鳥取支部、鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長寿社会課、鳥取労働局労働基準部健康安全課

4 活動内容

- (1) 構成員の取組に関する情報交換
- (2) 行動災害防止対策や健康づくり
- (3) 行動災害防止に係る啓発資料等の作成
- (4) SAFEコンソーシアムへの参加・SAFEアワードへの応募



←SAFEコンソーシアム
SAFEアワード→

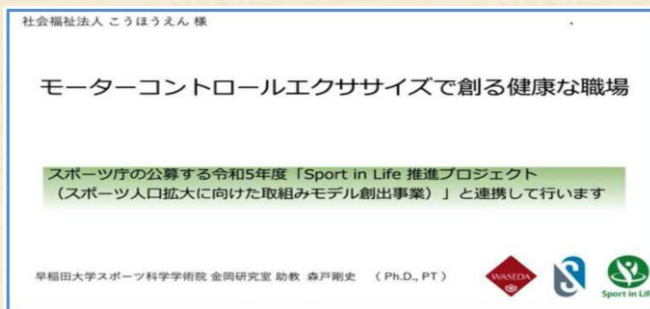


鳥取県内の介護施設における安全衛生活動の取組事例の紹介

「社会福祉法人こうほうえん」の取組内容

取組内容

- ① 中央労働災害防止協会による安全衛生サポート事業を活用し、職場内の研修を受け、5S活動（特に整理・整頓を重点に）を強化し、職場内の意識改革に努めた。
- ② 腰痛対策については、早稲田大学との行っている、モーターコントロールエクササイズを実施し、腰痛で仕事に支障が出ている職員に対して、何名かではあるが効果が出ている。
- ③ 職場環境検討委員会にて、訪問職場巡視を年4回実施し、指導を行い改善を図り委員会で共有。



「社会福祉法人あすなろ会」の取組内容

取組内容

- 職場巡視チェックリストを使用した安全衛生委員による職場巡視を実施した。
- 夏季は熱中症予防対策、冬季は転倒予防について安全衛生委員会で研修・啓発を実施。なお、凍りやすく、滑りやすい箇所を記した地図を配布した。
- 衛生委員、安全衛生指導者を対象にした腰痛予防対策研修会を開催した。また、作業療法士や理学療法士が腰痛予防の体操・ストレッチなど行い、職員への周知を実施した。施設によってはポスターを作成し、各部署に貼っていつでもできるようにしている
- ヒヤリハット対策の例（手作り腕カバーの作成

